

情報活用単元デザインシート

| | | | |
|-------|-------------|---------|------------------------------|
| 学年・教科 | 6年・総合 | 単元(教材)名 | 広島について学んだことを伝えよう |
| 時数 | 16時間(本時14時) | 日時 | 令和2年10月28日(水) 14:50~15:35 |
| 場所・教室 | 6年1組 教室 | 授業者 | 池内 一尊 |

単元のねらい(目標)

- 今の平和な世の中を生きる一員としての平和の在り方を考えることができる。
- 原爆について調べる中で、体験した人の思いや願いをとらえ、平和を持続するために自分にできることは何かを考えることができる。
- 自分たちが調べたことを、より多くの人に知ってもらうための方法を考え発信したり、先人の思いを伝えたりして平和な世の中にいていこうとすることができる。

単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| ○戦争で、人々が大きな被害を受けたことや、他国にも大きな影響を与えたことを理解している。 ○情報を集めるときや写真を撮るときの注意点など、情報モラルについて理解している。 | ○戦争の状況と人々の暮らしの変化と関連づけて考え、表現している。 ○自分たちが調べたことや思いをよりよく伝えるための表現方法を考え、実践することができる。 | ○戦争による被害の様子と現在の様子から、戦争とその時代を生きた人々の暮らしに关心をもち、進んで調べようとしている。 |
| | | |

指導にあたって

(1) 児童観

学習当初、「今の日本は平和である。」と考える児童は27人いた。その理由を聞くと、「食べられるものがいつもある。」「好きなことがいつでもできる。」「戦争がない。」などと答えた。次に、戦争について知っていることを聞くと、「アメリカに負けた。」「多くの人が亡くなった。」「負けるまで戦争をしていた。」など、多数の意見が出てきた。しかし、8月6日に原爆が広島に落とされたことを知らなかった児童が17人、9日に長崎へ落されたことは21人の児童が知らなかった。家族から戦争体験の話を聞いた児童も少なく、戦争に対する知識は浅く、平和に対する気づきをもっと深めていく学習や経験が必要と感じた。

1学期は、社会科や国語科の教科書教材を通して、平和とは何かについて話し合い、戦争を体験した方の話から戦争の恐ろしさを考え、自分たちの意見をワークシートに書いた。この活動を通して、修学旅行で現地学習を行い、実際調べた平和記念公園や原爆の子の像などを見て、広島での伝承者さんとの話を聞いてみたいと考える児童が出てきた。「戦争と平和について考え、今の自分にできることは何かを考えていこう。」という目的意識が芽生え、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られ始めた。

その後、図書館の資料「せんそうってなんだったの」(語りつきお話絵本)を読み、8つのテーマごとにチームを組んで調べた。調べた内容をコラボノートにまとめ、それぞれの観点から自分たちの感想を加えて発表したが、「平和になってよかったです。」というものが多く、どこか他人事のように感じている。今の日本に対して自分がどうしていきたいのか、他に知りたいことはないのか等、まだ今の平和な世の中を生きる一員としての在り方を考えている状態ではな

い。

(2) 単元観

本教材は、広島の原爆に焦点をおき、原爆について調べたことをもとに修学旅行での現地学習を深めることをねらいとしている。今回の教材を通して、1学期の最後にあがった「平和に対して自分がどうしていきたいのか。」を追求していく。

ICT活用のポイントとして、NHK for Schoolの「歴史にドキリ」や映像クリップの視聴とタブレットによる知識理解をはかる。ここで得た知識がもととなり、修学旅行中、関心をもって調べた資料や史跡を探すことが期待される。調べたことをワークシートに書くことで、修学旅行中のインタビューの資料にしたり、説明するときの材料にしたりと、これから活動へつなげていく。視聴した映像等はタブレットに記録することで、後日、振り返り学習の資料として活用する。タブレットの活用は、資料検索、現地学習、学習のまとめの一体的な活動となると考えられる。

活動してきたワークシートとタブレット資料は、広島での生の声を聞き、実際の資料を観ていく中での比較対象となり、学習の深化へと繋がる。映像資料等の原爆による被害の様子と現在の様子から、戦争とその時代を生きた人々の暮らしを熟考することができると考えられる。ガイドさんとのインタビューした内容をタブレットで記録することで、後日、学校でも写真や動画資料を振り返ることができる。児童が体験した人の思いや願いをとらえ、自分にできることは何かを考えるための手立てとして有効なツールであると捉えている。

(3) 指導観

「修学旅行で見学したことを5年生に伝える」ことを単元の最終目標にかかげることで、本単元に対する興味関心を高め、意欲的に活動するような土台づくりとする。「どんなことを知りたいか。」「どうまとめていきたいか。」と問い合わせることで、自分たちから進んで調べたいことや方法を見出し、学習形態を整えていく。4人1チームの活動班を作り、協力して調べ、感じたことを話し合う場を設けることで、5年生に伝えていくときの準備をする。

原爆が落とされるまでの背景として、戦争の起り⇒経過⇒戦後の様子を映像資料や図書資料で調べまとめさせていく。当日までの学習資料として、NHK for Schoolの平和学習の映像資料を用いる。視聴することで戦争の様子が伝わり、映像や音声を通して理解を深めることができる。映像資料をタブレットで繰り返し視聴することによって児童が必要とする場面を再確認することができ、同時にスクリーンショットで記録し保存することができる。

非核三原則にこめられた願いや、なぜ今もなお原爆ドームが残されているのか、小学生による平和への誓いなど、映像を觀ることによって、平和に対する思いや願いを考えさせる。その結果、平和への願いをこめて全校で千羽鶴を折ることを児童集会で6年児童が提案したり、今里版の平和への誓いを考えさせたりする。

情報を収集するにあたっては、目的意識をもって取り組ませる。修学旅行当日、ガイドの話は目的意識をもって臨ませたい。そのために、あらかじめ調べた内容をもとに質問を設け、インタビューさせる。観点をもち、課題を解決する意識をもつことで、自分たちの問題として取り組ませたい。タブレットでの記録の仕方も同様で、やみくもに録画するのではなく、自分たちが知りたいと思うものや見たかった写真を撮り、ガイドさんの話もできるだけ事前に考えておいた観点に沿った内容を記録させる。自分たちの情報の取捨選択をする際、考え方や根拠が伝わるような写真を選ぶなどの情報活用能力の育成をはかる。

指導の流れ

| 時 | 学習活動 | ICT 活用のポイント | 指導上の留意点 |
|-------------------------|--|--|--|
| 1 ・ 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 非核三原則、原爆ドーム、平和への誓いについて学習し、それぞれの願いを知る。 【ワークシート】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像資料をタブレットで繰り返し視聴することで、児童が必要とする場面を確認することができ、記録し保存することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ今も大事に残されているのか。資料からそれぞれの願いを考えさせる。 |
| 3 ・ 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆ドームや原爆の子の像について調べる。 【パンフレット・ワークシート・タブレット】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和記念資料館と検索し資料を見ることで、そこから感じたことを全体で共有することができる。 ・ 書画カメラにパンフレットを映すことで、調べるポイントを押さえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆ドームを残す意味や原爆の子の像が作られた願いを考えさせる。 ・ ガイドさんに質問したいことをまとめさせる。 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今里版平和への誓いを考える。 【ワークシート】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ NHK for School の映像クリップ「小学生による平和の誓い」を見ることで、自分たちで考えるときの基準となる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が最も伝えたい気持ちや思いに着目させる。 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 千羽鶴を全校で折る。 【ワークシート ・ タブレット】 (児童朝会) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したパワーポイントの資料を児童朝会で発表することで、千羽鶴作りの意義を伝える手立てとすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する内容のポイントを押さえ、整理したもの伝えさせる。 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を集める時に注意することを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ NHK for School の「しまった」を視聴することで疑似体験をすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真をとる場所では、撮影していいか確認させる。 ・ 使い方に気をつけ、学習後は削除させる。 |
| 8 ・ 9 ・ 10. | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生に紹介したい内容をパワーポイントにまとめる。 【パンフレット・ワークシート・タブレット】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで見てきた映像やHPの写真や動画をパワーポイントの資料として活用することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに書いてきた感想や調べた内容を活用することで、学習を通して学んできたことを伝えさせる。 |
| 11. | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆の子の像の前で、平和への誓いを行う。 【ワークシート ・ タブレット】 (修学旅行①) | <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットで活動の様子を録画し、後日児童朝会で紹介することで、全校で取り組んだことの意義を考えることができる。 | |
| 12 ・ 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドさんとともに平和記念公園を見学する。 【ワークシート ・ タブレット】 (修学旅行②) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡の録画をすることで、説明のポイントを押さえることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学したことを整理し、5年生へ伝えていく資料となることを押さえておく。 |
| 14 本時 ・ 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動班ごとに5年生へ伝えたい内容をタブレットにまとめる。 【ワークシート・パンフレット・タブレット】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行で記録した写真や動画を用いることにより、直に感じ捉えた内容や思いを説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿とパワーポイントの作成の役割分担を行い、協働的に活動できるよう促す。 |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 16 | <ul style="list-style-type: none"> 5年生に見学した内容を伝える。 <p>【ワークシート・パンフレット・タブレット】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 写真や動画を通して、見学した内容がわかりやすく伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 役割分担を行い、パワーポイントの流れに沿って説明していくことを意識させる。 |
|----|---|---|---|

本時の学習

| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 | <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 | <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 |
|------------|---|--|--|
| ICT活用の場面 | <input checked="" type="checkbox"/> 導入 | <input checked="" type="checkbox"/> 展開 | <input checked="" type="checkbox"/> まとめ |
| ICT活用者 | <input checked="" type="checkbox"/> 指導者 | <input checked="" type="checkbox"/> 児童 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ICT活用の目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input type="checkbox"/> ペアの考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考え方の比較・交流 <input checked="" type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考え方を表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成 | | |
| 活用機器 | <input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 大型モニタ <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末 <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末 <input type="checkbox"/> その他() | | |
| 活用コンテンツ等 | <input checked="" type="checkbox"/> パワーポイント | | |
| ICT活用のポイント | <input checked="" type="checkbox"/> パワーポイントを使う写真や動画に合わせてワークシートを用いることにより、伝えたい内容をわかりやすく説明することができる。 | | |

(1) 目標

原爆がもたらした悲惨さや平和に対する願いや思いを捉え、平和な世の中を生きる一員としての在り方を考えることができる。

(2) 展開

| 学習活動 | ☆ICT活用のポイント ◇指導上の留意点 | 使用機器 コンテンツ | 評価 |
|--|---|---------------|--|
| 1. めあてを確認する。 | ☆ 大型モニタに修学旅行時訪れた平和記念公園の写真を提示することで、興味関心をもつようとする。 | 大型モニタ | |
| 修学旅行で見学したことをもとに、5年生へ紹介する内容を考えよう。 | | | |
| 2. 写真を選んだ根拠を考える。 同じ場所の写真を画面分割で映し、自分の考えをワークシートに書く。 ・原爆ドーム ・原爆の子の像 平和への誓い ・伝承者さんの話 ・ガイドさんへインタビュー | ◇ 写真や動画を選んだ根拠を明確にするために、ワークシートに考え方書き、説明するときの手立てとする。 ☆ 必要なら録画したガイドさんや伝承者さんの話を繰り返し観ることで、伝えたいポイントをしぼるようにする。 ◇ 話し合うときは、自分の考え方の根拠を伝えるように助言する。 | 大型モニタ | 【思考・判断・表現】 ・紹介しようとするとする資料から感じ取った平和に対する思いや願いを考え表現している。 (発言・ワークシート) |

| | | | |
|---|--|-----------------------------|--|
| <p>3. 活動班内で発表内容の意見交流をする。 「この写真を使うことで、 _____ということを伝えたい。」</p> | <p>◇ 使用する写真は、事前に調べた資料に足りない点や自分が伝えたい理由があることをワークシートに書くようとする。</p> | <p>大型モニタ タブレット端末（児）</p> | |
| <p>4. 交流したことから自分たちの平和に対する考えをまとめること。 5. 活動を振り返る。</p> | <p>☆ パワーントに入れた写真に合わせて、話し合ってまとめた自分たちの平和へ対する考え方を加えて説明するように助言する。 ◇ これまで学習したことを振り返りながら進めていくようとする。</p> | <p>タブレット端末（児）</p> | |

板書計画

学習問題 修学旅行で見学したことをもとに、5年生へ紹介する内容を考えよう。

大型モニタ（8グループの画面）

パワーポイントに写真を添付し、ワークシートへ説明や平和への願いを書く。

原爆ドーム

75年も保存。世界遺産と認定され、全世界から観光客が訪れる。

崩れ落ちた建物、残ったレンガのがれきから、原爆の恐ろしさや悲しさが伝わってきた。

原爆の子の像

佐々木貞子さんがモデル。同級生らが中心となって製作した。ここで全国の児童生徒が平和への誓いをする。今里版の平和への誓いをし、千羽鶴をかけ、平和への願いを唱えた。

伝承者さんの話

当時の様子や原爆の恐ろしさ、そこから現在にいたるまでの人々の営みやかかわりの話をきいて感じたこと。

1時間の流れ

- ① めあて
- ② 資料を選ぶ。
(グループ活動)
- ③ 意見交流
(個人⇒思い、願い)
(グループ活動)
- ④ 平和に対する考え方
(グループ活動)

(4) 授業を終えて

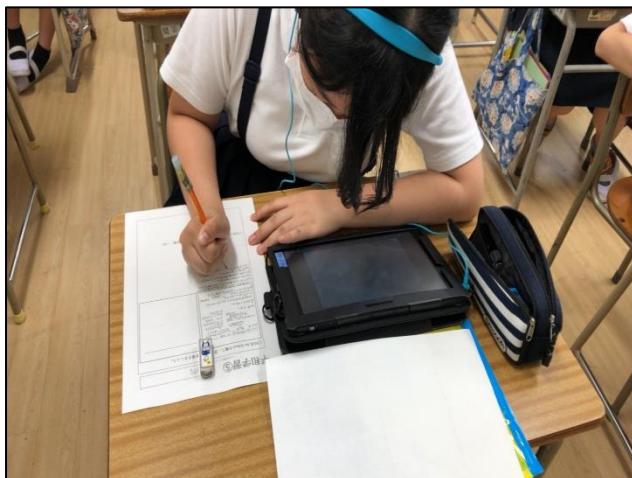
①成果

- ・ 5年生へ伝えたい内容を明確に意識することによって、資料や映像を選ぶことができた。それをもとに理由や根拠をふまえた説明をすることができた。
- ・ ガイドさんの話や映像資料を組み合わせて説明するなど、複数資料を併用して伝える資料活用能力を高めることができた。
- ・ ワークシートに調べた内容の説明を書き、パワーポイントと結び付けて活用することにより、紹介したいポイントを押さえたパワーポイントを作成することができた。
- ・ チームの中で役割分担を行いまとめる内容を分けることにより、円滑に作業を進行することができた。

②課題

- ・ 観点を決めて資料や写真を準備していたが、それでも多くなってしまい、取捨選択に悩む児童もいた。
- ・ 資料や映像を活用し、平和への思いを伝えることができる児童が増えたが、考えることができない児童もいた。

⇒どちらもグループ内で話し合い、解決に努めたが、ヒントカードや話型を用いて自力解決していける手立てを用意する。



発表内容を整理している様子



発表の様子